

東北地方 1か月予報

(4月20日から5月19日までの天候見通し)

平成14年4月19日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は周期的に変わり、晴れの日が多い見込みです。なお、2週目を中心に遅霜のおそれがあります。

向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ない、日照時間は平年並が多いでしょう。

気温は、1週目は高く、2週目は平年並か低い、3～4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 4月20日(土)～5月19日(日)

1週目 : 4月20日(土)～4月26日(金)

2週目 : 4月27日(土)～5月3日(金)

3～4週目 : 5月4日(土)～5月17日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は4月26日

3か月予報：4月22日(月)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	12.1	155.3	184.9	10.4	11.5	13.0
新庄	12.3	107.8	168.0	10.1	11.6	13.4
若松	13.7	75.2	187.7	11.7	13.1	14.7
深浦	11.4	106.3	182.1	9.7	10.7	12.3
青森	11.4	74.7	197.8	9.5	10.7	12.4
むつ	10.5	93.7	198.9	8.6	9.7	11.5
八戸	11.5	78.3	199.7	9.7	10.8	12.5
秋田	12.5	127.0	177.2	10.7	11.9	13.4
盛岡	12.0	106.3	186.1	10.1	11.3	13.1
宮古	11.7	102.8	188.0	10.1	11.1	12.5
酒田	13.1	120.2	184.4	11.3	12.5	14.1
山形	13.7	80.8	191.0	11.6	13.0	14.7
仙台	13.3	111.6	191.3	11.6	12.7	14.2
石巻	12.4	103.5	195.6	10.7	11.8	13.3
福島	14.9	88.1	190.1	13.0	14.3	15.9
白河	13.3	114.7	182.6	11.5	12.7	14.2
小名浜	13.8	149.3	190.2	12.4	13.4	14.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.5	83~117	97~105
東北日本海側	-0.5~+0.6	87~117	96~105
東北太平洋側	-0.4~+0.5	75~117	97~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.7~+0.9	-0.3~+0.6
東北日本海側	-0.7~+0.5	-0.8~+0.9	-0.4~+0.7
東北太平洋側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.8	-0.3~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年4月19日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(4月20日~5月19日) :

天気は周期的に変わり、晴れの日が多い見込みです。

なお、2週目を中心に遅霜のおそれがあります。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(4月20日~4月26日) :

期間の中頃までは高気圧に覆われて概ね晴れます。期間の終わりは気圧の谷の影響で天気が崩れるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2週目(4月27日~5月3日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。なお、遅霜のおそれがあります。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3~4週目(5月4日~5月17日) :

天気は周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

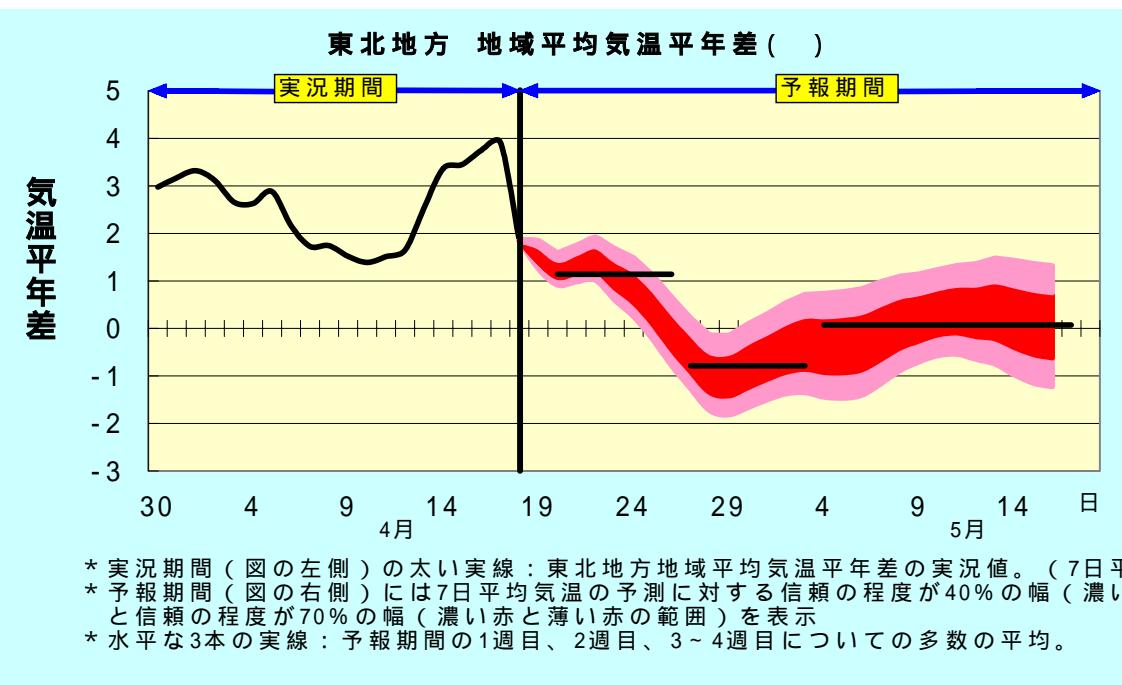
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.7日	4.0日	3.6日	8.1日
東北太平洋側	16.4日	4.4日	3.8日	8.2日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と予測結果

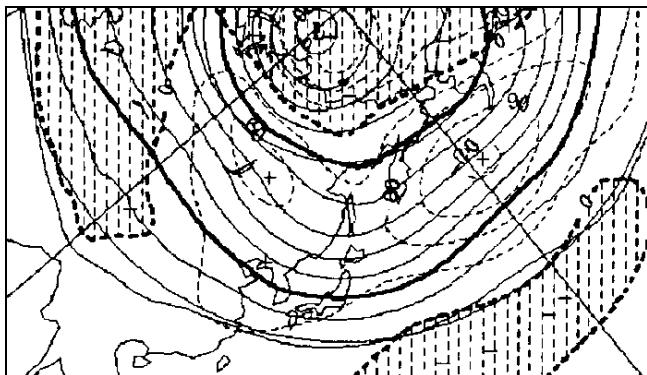
気温は、1週目は「高い」、2週目は「低い」、3~4週目は「平年並」を予測している。

予報は、その他の資料から2週目を「平年並か低い」とする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

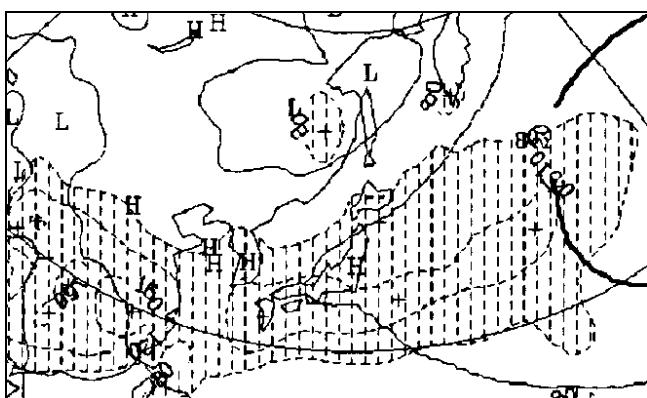


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高度線 : 60m 每、偏差 : 30m 每、陰影部 : 負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、アリューシャン付近に中心を持つ強い正偏差が西に延び、日本付近は広く正偏差に覆われる。

週別（図略）では、1週目はアリューシャン付近に中心を持つ正偏差域が日本付近を覆うが、2週目には日本の東海上が負偏差となる。3~4週目は、日本付近は弱い正偏差となる。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線 : 4hPa 每、降水量 : 40mm 每、陰影部 : 80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、日付変更線付近の高気圧が強い。日本は華南から伸びる帶状の凝結域に覆われる。日本付近の等圧線はまばらで、天気は周期的に変化する。

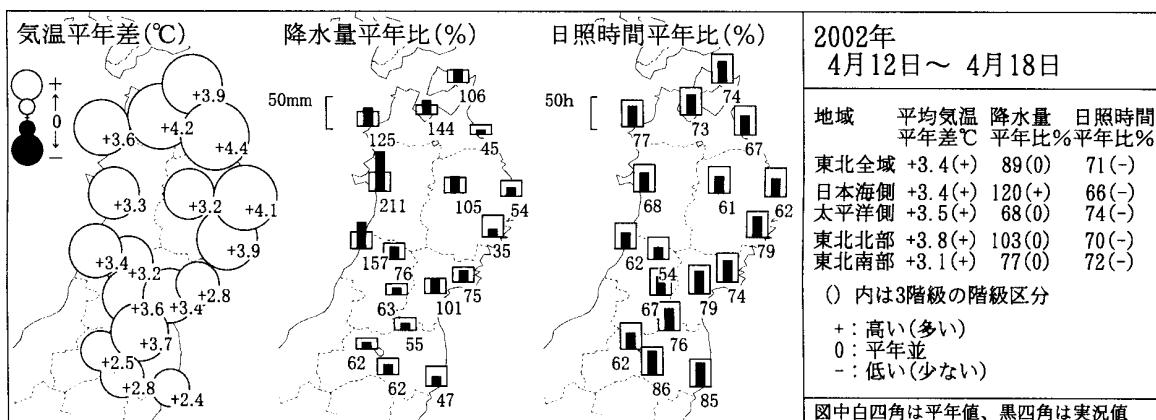
週別（図略）では、1週目は東海上の高気圧に覆われるが、2週目には次第に弱まる。凝結域は弱い。3~4週目は地上気圧配置はほぼ平年の分布となる。

4. 最近1週間（4月12日～4月18日）の天候の経過

期間の中頃は高気圧に覆われて晴れて気温が上がり夏日を観測したところが多かった。その他は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。17日には寒冷前線が通過し、東北日本海側でまとまった降水があった。

なお、桜の開花は八戸13日、青森14日で、青森では最も早かった。

平均気温は、東北地方で平年差+3.4と高かった。降水量は、東北日本海側で平年比120%と多く、東北太平洋側で平年比68%と平年並だった。日照時間は、東北地方で平年比71%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）